

令和3年6月15日

会員団体 各位

(一社) 建設産業専門団体連合会
会長 岩田 正吾
(公印省略)

建設技能労働者の処遇改善への取組について

日頃からお世話になっております。

標記につきまして、6月9日の通常総会で3月30日に行われた国土交通大臣と建設業4団体の意見交換会で共通認識とした「建設技能労働者賃金の2%アップ」について説明させて頂きました。

当会として職人の賃金を上げていくことについては賛同するものの、各経営者で可能な創意工夫を行うにも限界があります。

賃金アップのための障壁は多く、元請・下請関係では、ダンピングによる受発注への対応や下請け企業の見積尊重の実施等、経営者として意識を強く持って取り組んで行かなくてはなりません。

そこで、これらの課題のうち賃金アップ分の原資を確実に獲得することを第一の目標と定め、①労務費には賃金アップ分を反映させた額を計上し、法定福利費等必要な費用の内訳を明示した見積書を作成すること及び②当該見積書を尊重した請負契約を締結するよう理解を求めていくことを、当会加盟団体の当面の共通取組として実施していきたいと思っております。

建設専門工事業を将来へ継承していくために、職人の魅力ある処遇を実現して、若者にあまねく知らしめることが急務の状況です。会員団体各位におかれましては、この旨ご理解の上、貴団体所属会員に対して当該共通取組みの実施を周知徹底頂きますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、今般の役員改選により会長の任を授かりました公益社団法人 全国鉄筋工事業協会の岩田でございます。会員団体所属会員の地位向上と発展を目指して尽力して参りますので、宜しくお願い致します。書中をもって就任のご挨拶を兼ねさせていただきます。